伊勢崎市立三郷小学校　学校通信

三郷っ子だより

令和7年度　第7号　　令和7年7月2日(水)

たくさんの保護者の方々にご来校いただき、「わくわく」そして「ドキドキ」していました

６月１７日～２６日の２週にわたって授業参観を学年毎に開催し、多くの保護者の方々に子どもたちが授業で頑張っている様子をご覧いただきました。

各学年とも、５校時に授業参観、６校時に学級(学年)懇談会を実施しました。教室に入りきらないほど多くの保護者の方々の姿を拝見し、本校の教育に対する保護者の皆様方の関心の高さに率直なところ驚かされるとともに大変ありがたく思いました。各学年とも通常授業を中心に日常的な学習風景をご覧いただけるようにしましたので、児童の学びや学校生活について様々な面から見て感じていただけたことと思います。児童は普段どおりに学習していましたが、保護者の方々に『見られている』ことから、「張り切っている」様子が窺えた一方で、「うれしい」「恥ずかしい」「照れくさい」などといった思いが入り交じった表情も垣間見えました。総じて、普段以上に頑張っている様子から、児童にとって励みとなる時間だったように思います。

また、授業参観後の懇談会では各学級･学年の実態や今後の行事の説明等をさせていただき、参観同様に多くの保護者の方にお伝えできました。

ご来校いただいた皆様には、児童の真剣に学ぶ姿や頑張る様子など本校のよさに触れていただけたことと存じます。保護者の皆様のご理解･ご協力を得て、１学期の授業参観について滞りなく行うことができました。ありがとうございました。

名前のない落とし物が泣いています…

児童玄関に「落とし物コーナー」を常時設置しています。授業参観で来校された保護者のなかには、目にされた方もおられたことと思いますが、ハンカチ･タオルが多く、いずれも、名前が記入されていないため、落とし主が分からなかった物ばかりです。誰しも落とし物をすることはあると思います。そして、落とし物をして物がなくなると不便な生活を強いられることになります。しかし、名前を書いておくと、校内では持ち主へ速やかに戻ることが多いようです。毎日を不便なく快適に過ごすために、自分の持ち物には必ず名前を書いたり新たに購入した際にはすぐ記名したりする習慣を身に付けたいものです。

【お･は･し･も】をしっかり守って避難しました

危機管理としての避難訓練については、５月１９日に地震･火災を想定した避難訓練、６月３日には不審者対応を想定した避難訓練を実施してきました。しかし、５月１９日には１年生の引き渡し訓練を並行実施したため、６月３日は雨天のため、いずれの日も全校児童が一斉に校庭へ移動する避難訓練が行えずにいました。そこで、６月２７日の朝の時間に、北校舎２階の家庭科室から出火した想定で東校庭へ全校児童が一斉避難する、避難経路確認訓練を実施しました。先生の指示に従って、児童は過密にならないよう気を付けながら「押さない」「走らない」「しゃべらない」「戻らない」といった、避難時の原則である【お･は･し･も】をしっかり守って速やかに避難できました。児童･教職員合わせて７００人を超える全員が５分以内に校庭へ移動することができたのは、素晴らしいことと思います。

今後も考えられる様々な危機･危険を想定して、より実効性の高い避難訓練や安全指導を行いたいと思っています。生命の大切さを第一義に考えた危機管理能力を高め、仮に災害が発生したとしても落ち着いて危険を回避できるような児童をより多く育成することで、安心で安全な学校に少しでも近づけるようにしたいと考えております。

暑さを感じる日が多くなってきました
あらためて熱中症への対策をよろしくお願いします

７月に入り、ますます日差しが強まり、朝から晴れた日は盛夏を思わせる気温･湿度になります。徐々に暑さに慣れてきたとはいえ、１学期の終盤で疲れがたまっている今の時期、思いのほか熱中症リスクが高まるといわれています。

発達途上の小学生にとっては「運動時のマスク着用を控える」「早めに水分を補給する」といった対処的な予防策の他に、「早寝･早起き･朝ご飯など規則正しい生活を送る」「十分な睡眠をとって疲労回復に努める」などの日常的な予防が熱中症対策として効果的といわれています。このことについては、学校で繰り返し指導しておりますので、ご家庭におかれましても併せてのご指導をお願いいたします。